

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム陽だまりの園	評価対象年度	令和5年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人照陽会 ・代表者名 理事長 高橋 照比古 ・住所 川崎市多摩区栗谷2-16-6	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成28年4月1日～令和6年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 50人) 在籍者数 47人(令和6年3月31日現在:入院等不在者を含む)								
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	
	利用者数	1	1	18	15	12	0	47	
	②通所介護事業(通所定員 34人/日) ※休止中(R5年度) 年間延べ利用者数 0人:定員に対する稼働率 0%								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0		
	③短期入所事業(入所定員 10人) 年間延べ利用者数 622人:定員に対する稼働率 17%								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者数	18	43	26	29	59	58			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
延べ利用者数	63	70	66	55	78	57			
	④居宅介護支援事業 ※休止中(R5年度) 給付管理者数(令和6年3月分)								
介護度	要介護1	要介護2	要介護2	要介護4	要介護5	その他	合計		
管理者数	0	0	0	0	0	0	0	0	
収支実績	※通所介護事業・短期入所事業 実績報告において、令和元年度から他会計区分繰入分は含まない (単位:円)								
	①特別養護老人ホーム事業 (収入)				①特別養護老人ホーム事業 (支出)				
	介護料収入				171,547,249	人件費	139,503,788		
	利用者等利用料収入				46,277,981	事業費	29,535,578		
	その他の事業収入				8,892,844	事務費	5,928,980		
	合計				226,718,074	合計	174,968,346		
					(収支差額) 51,749,728				
	②通所介護事業 (収入)				②通所介護事業 (支出)				
	介護料収入	0			人件費	0			
	利用者等利用料収入	0			事業費	0			
	その他の事業収入	0			事務費	0			
	合計	0			合計	0			
				(収支差額) 0					
③短期入所事業 (収入)				③短期入所事業 (支出)					
介護料収入	6,205,019			人件費	26,911,140				
利用者等利用料収入	1,943,434			事業費	4,113,931				
その他の事業収入	560,041			事務費	766,865				
合計	8,708,494			合計	31,791,936				
				(収支差額) ▲ 23,083,442					
④居宅介護支援事業 (収入)				④居宅介護支援事業 (支出)					
介護料収入	0			人件費	0				
利用者等利用料収入	0			事業費	0				
その他の事業収入	0			事務費	0				
合計	0			合計	0				
				(収支差額) 0					
(収入)				(支出)					
介護料収入	177,752,268			人件費	166,414,928				
利用者等利用料収入	48,221,415			事業費	33,649,509				
その他の事業収入(※)	9,452,885			事務費	6,695,845				
合計	235,426,568			合計	206,760,282				
				(収支差額) 28,666,286					
サービス向上の取組	○特別養護老人ホームにおいては、令和4年度、5年度と続けて、かわさき健幸福寿プロジェクトに参加し、入居者のニーズに合わせたサービスの提供による要介護度等の改善・維持、また介護職員のサービス向上、意欲の醸成に取り組んでいる。 ○サービスを提供するにあたり、入居者の気持ちに寄り添うことで、入居者の状況にあわせた個別の対応を行い、ご家族に対して不安を感じさせない努力を講じるなどの配慮に努めた。 ○地域に開かれた施設としてありつづける努力と、安心してご利用いただけるように24時間ご家族に真摯に向かい合うことで、信頼関係を築いている。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	5	10
感染症への対策は適切に行われているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームにおいては、家族での介護が難しい方や、様々な困難を抱える方を積極的に受入れている。居室環境を入居者の希望に添えるようにするなど過ごしやすい環境作りと、生活の張りを楽しみもっていただけるようなサービス提供をしている。</p> <p>通所介護については、地域のニーズ等が低下して状況が踏まえ、令和3年度に続き休止している代わりに、現在跡地スペースを地域の方との繋がりをもつ交流スペースとして活用している。</p> <p>居宅介護支援についても、職員の離職により平成31年2月以降、人材の確保が難航し、これにより現指定期間開始当初の想定人員配置では継続が困難となり、新たな介護人材の採用にも至っていないことから休止となっているが、人材確保に引き続き努めている。</p> <p>介護サービス情報公開については、ホームページにて、決算報告書の開示を行い、施設行事の様子をブログにて更新している。</p> <p>地域交流については、新型コロナウイルス感染に注意しながら、引き続き地域との繋がりに取り組んだ。幼稚園・保育園との繋がり、地域青年部との繋がり、中学校・高校の職業体験や実習生の受入れなど地域の方に施設の空きスペースを利用していただくことで、地域の信頼関係の構築に繋げることができている。地域交流スペースの利用が年々増えており、需要があることがわかる。</p> <p>入居者の健康管理については、特別養護老人ホームとしては先進的なICT見守り機器を導入し、個々のADLを把握し、個人レベルにあわせて身体を動かせるように援助し、残存機能の維持・向上に取り組んでいる。</p> <p>感染症については感染症対策(インフルエンザ感染予防、新型コロナウイルス感染予防)に努めていたが、3月8日から3月18日までに数名の陽性が判明。緊急感染症委員会をひらき、ゾーニングをはじめ、陽性者の隔離、他人居者についても各自居室で対応するなどとして、徹底した感染予防対策を行い、迅速な指示と対応によってクラスター発生を防ぐことができたことについては高く評価できる。また、日頃からの利用者家族との細やかなコミュニケーションにより、信頼関係を築いていることから混乱はみられなかった。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
収入増加のための具体的な取組が為されているか					
適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>引き続き、コロナ対策の備品等の購入や修繕工事の執行においても、少しでも安価で実行できるように、多数の市内業者に積極的に見積もり合わせをすることで経費削減に取り組んだ。また、空調設備の更新や照明器具をLED化したことが光熱水費の削減に寄与したものと考えられる。</p> <p>特別養護老人ホームにおいては、積極的な加算取得(科学的介護推進体制加算など)や医療的ケアの必要な方や介護度の高い方の受入を進んで行っている。退所後もスムーズに新規入居者を安全に安心して施設に慣れていただけるような配慮も欠かさずお迎えすることで、継続的な収入の増加にも繋がっている。</p> <p>通所介護の収入が見込めないなか、特別養護老人ホームにおいては、適切な事業・管理運営に注力しながら収入確保に努めたことで、今年度も全体の収支差額は黒字となっている。</p> <p>短期入所においては、困難ケースの受入れや家族の精神的ケアを含めて看取りまでの受入れをするなど積極的に対応した。</p> <p>利用料収入については、事業ごとに口座振替としている。預り金は、身元引受人が面会時に現金で持参され、現金と引き換えに預かり証を発行している。また、金種確認を複数人で関わり、内部牽制に努めるとともに、手続きをマニュアル化し、誤りがないように徹底することで家族との信頼関係に繋がっている。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
<p>利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか</p> <p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームにおいては、サービス向上のため、入居者のニーズに合わせた柔軟な対応を常に行えるよう、各セッション会議・委員会会議・部会議を元に、運営会議で最終検討された内容が職員全体で周知徹底されている。排泄介助では、オムツからトイレ誘導にかわった入居者が昨年11名増えており、さらに今年は5名増えている。機能訓練指導員の個別リハビリと職員の取組により、安全に立位・歩行の確保ができ、職員と入居者の意欲が高まったうえでの努力の結果と言える。排泄介助のみならず、入浴介助においても残存機能を生かした支援によって、より高いサービスの提供を行っている。また、健幸福寿プロジェクトの取組において、要介護度の改善1名(金賞)、維持27名(銀賞)となったことは、サービス向上や業務改善の取組として高く評価でき、令和5年度の事例集にも取組が取り上げられている。しかしながら、「適切なサービスの提供」の評価においては、通所介護及び居宅介護支援が休止となっていることを踏まえた評価とした。通所介護については、跡地スペースを活用して、積極的に地域の方と施設が交流することで、地域のニーズや課題を汲みとることができ、結果、地域に根付いた施設の運営に繋げている。</p> <p>勤続年数の長い職員が経験を活かし積極的に新しい業務につくことで違った目線で業務改善策を見つけ、利用者のニーズに合わせた柔軟な対応をおこなっている。また、よりよく施設を改善するための施設独自の資料を作成し、職員研修を行うことで業務改善によるサービス向上に努めている。</p> <p>その他、緊急で受入れが難しい方に関しても、積極的に対応し各関係機関と連携を図りながら問題解決に向けて活動している。</p> <p>意見等の収集をするため、サービスごとに常設の窓口(連絡先)及び担当者を設置し、入居者からの苦情を処理するために講ずる措置の概要を施設内に掲示している。また、日頃から家族とのコミュニケーションを密に行い不安に思う家族の気持ちに寄り添っていたことで感染症陽性者発生時にも家族からの激励をもらうなど、信頼関係を築くことができています。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。					
コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4	
	個人情報の管理は適切に行われているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>介護・看護職員の配置については、看取りの対応ができるよう、職員配置基準以上の加配を行いサービスの質を確保するとともに、職員が働きやすい環境づくりに常に努めているが、「適正な管理体制の構築」の評価においては、通所介護及び居宅介護支援が休止となっていることを踏まえた評価とした。</p> <p>施設運営状況等については、施設の安全な利用に支障をきたさないように所管課と年間を通じて連携を密に行っている。</p> <p>職員のスキルアップに向けた取組みとして、基本業務の確認・徹底のための研修を実施。全職員が複数の同じ研修(倫理・法令順守研修、食中毒防止研修、感染症予防研修、看取りケア等)を受講し、研修後に報告書を提出することで、職員の理解度の把握や日々の業務での解決策にもなり、より一層統一したケアにつながった。職種を超えたコミュニケーションや話し合いを度々行うことにより、日々の業務を行うなかで、一人一人のスキルとしても浸透している。また、令和5年度においては、具体的にポイントを絞った独自仕様の研修資料を複数作成したことにより、現場に則した有意義な研修を行うことができている。</p> <p>モチベーションアップの取組みとして、職員の家族に異変があった場合にはすぐに駆け付けられるようにバックアップ体制を構築することで、子育て世代も働きやすい環境を整えている。その他、精励・優良な継続勤務の職員に対し、法人として、都度審査のうえ表彰している。</p> <p>安全・安心への取組みでは、緊急対応マニュアルに基づいた迅速な連絡体制を整備するとともに、事故が発生した場合には、事故報告書を作成し、事故防止委員会を開催している。事故の危険性が高い方には、その方に合った方法を都度検討し、見守りの強化や再発防止に努めている。他にも近隣町会と相互協力援助覚書を締結することで、災害時の協力体制を築いている。</p> <p>個人情報保護に関する基本方針を文書にし、施設内に掲示。個人情報保護の取組みとして、パスワードを他の媒体に管理、保管し、個人情報の記載のある書類については、不要になった時点でシュレッダー処理を徹底した。</p> <p>倫理・法令順守研修、リスクマネジメント研修、プライバシー保護虐待防止研修等を数十名の職員が参加できるよう期間を定めて複数回行い、さらに、受講者の個別面談も実施することで、コンプライアンスに関して職員間で知識・認識の統一を徹底している。</p>					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	4	8
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>当該施設は、開設から20年以上経過しており、施設の老朽化に伴って、施設等の修繕や突発的な故障が多くなっているが、安全な施設運営を確保するため、保守管理及び施設管理を適切に行うとともに、市への報告や確認を含めた連携を心掛ける姿勢は高く評価できる。</p> <p>また、修繕工事等の実施にあたり、優先すべき修繕工事等の選定、業者との調整、発注、立会い、市への報告等が適切に行われたことで、敷地内の舗装、受変電設備等について適切に更新がなされた。</p> <p>外構の植栽については、入居者家族の協力も得ながら、清潔な環境の維持に努めている。</p> <p>備品の適正管理、消耗品の補充等については、感染症対策に必要な物品の欠品及び価格高騰が引き続きあるも、積極的に代替品の確保等を行うことで、適切なサービスの提供に努めた。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	79	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>入居者の日々の状態把握に努めることで、一人一人のニーズに合わせたサービス提供が行われており、そのことにより毎年入居者の身体的改善が日常生活動作のなかであらわれている。また、かわさき健康幸福プロジェクトにはほぼ全員の入居者が参加し、改善1名(金賞)、維持27名(銀賞)となったことは、積極的なサービス向上の取組として高く評価できる。さらに、地域に開かれた拠点としてありつづける努力に加え、安心してご利用いただけるように24時間ご家族に真摯に向かい合うことで、信頼関係を築いている。全体的な管理運営については、総合評価の結果から優れていると認められる。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>令和6年度から民設化し、引き続き同法人により運営がなされる。</p> <p>引き続きサービスの質の維持・向上を目指した運営を行うとともに、地域に開かれた施設として、地域の方々、利用者、利用者家族のニーズの把握に努め、地域包括ケアシステムの構築を推進していく取組みに期待する。</p>
--